



芦安中学校だより

第2号
校長 石原敬彦
2017.6.16

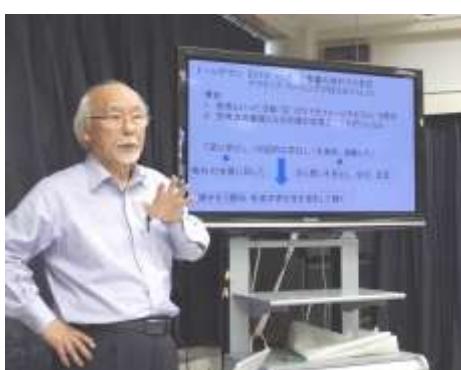
授業研究会・学習会を行いました。

5月19日に元岳陽中学校校長の佐藤雅彰先生をコーディネーターとしてお迎えし、授業研究会と学習会を行いました。授業者は早川武浩教諭、授業は1年生の社会科「人類の出現」です。今年度本校は、英会話の研究と並行して授業の中での「学び合い」を主軸とした言語活動に取り組んでいきますが、授業の中に①作業・活動の場面があること②協同の場面があること③全体で表現・共有する場面があることの3つの要素を入れることを確認しています。当日早川教諭はこの3つを見事に具現化した授業を提供し、佐藤先生からも高い評価をいただきました。入学して間もない1年生6名も夢中になって学びました。この日は小中一貫教育を進めている芦安小学校の先生方も参加してくださいました。今後も「質の高い授業の創造」と「確かな学力の育成」にしっかりと取り組んでいきます。

となりの
芦安小学校
の先生方も
参加してく
ださいまし
た。



早川教諭が綿密に用意した資料とじっくり向き合いながら「根拠に基づく考え方」を自分の言葉で表現・交流し合い、ホワイトボードにまとめ発表し合いました。



佐藤雅彰先生のご紹介

研究会・学習会での佐藤雅彰先生のお話

- ・協同的な学習は、みんなで支え合う、差別や疎外のない集団づくりにもつながる
- ・グループ学習の最終目的は「個の力を高める」ことである
- ・ヴィゴソキー理論(ZPD)を取り入れることで
① より良い関係性の構築と人格の発達
② 学力の向上につなげることができる
- ・「オキシトシン」は学習効果を高める
- ・課題や場面によって机の配置を工夫することが大切
- ・現在芦安中が目指している授業は文科省の進める「主対的で対話的で深い学び」の目指す授業に合致している

佐藤雅彰先生は、静岡県富士市の広見小学校・岳陽中学校の校長を務められました。岳陽中学校での実践を書かれた著書「公立学校の挑戦」はベストセラーとなり、平成16年3月にご退職された後も日本国内はもとより、海外からも学校づくり・授業改善のスペシャリストとして支援の要請が絶えない先生でいらっしゃいます。お忙しい中、今年度は本校にあと2回来校してくださいます。



支部総体 男子バドミントン シングルスで 優勝! ダブルスも 優勝!

6月13日・15日の2日にわたって郡総体が行われ、男子バドミントン・シングルスで3年生が優勝、男子バドミントン・ダブルスでも3年生のペアが優勝しました。
男女ともに団体戦も健闘しました。今度は県総体に向かって男女一丸となってがんばります。

